

☆ 中 国

繊維政策

産業用繊維品協会の標準化委員会が設立される

このほど、中国産業用繊維品協会は、国務院標準化工作を深化する改革法案に関する通知に基づき、協会標準化委員会を設立するとともに、その運営規則と協会標準制定管理細則を制定した。この協会標準化委員会の事務局は中国産業用繊維品協会に設けられ、構成する委員は、代表企業、研究機関、検査測定機関からなる。現在、協会標準として、いくつかの募集意見による草稿を作成済みである。

中国産業用繊維品協会によると、今回の協会標準の策定は、産業用繊維品業界の標準体系の整備、業界の質や効率の向上にとって積極的な作用を果たすとして評価している。

化繊業況

再生ポリエステル繊維、原油価格下落により打撃

中国化繊情報網は、近年の再生ポリエステル繊維産業を取り巻く環境と動向についてレポートを発表した。概要は以下の通り。

今年は繊維産業全体にとって厳しい一年であったが、中でも再生ポリエステル繊維は生産量が前年比 13%減と落ち込んだ。マクロ経済の低迷による需要減少という全産業が直面した共通の問題に加え、原油価格の下落が再生ポリエステル繊維産業の不振に拍車をかけた。原油価格は近年、需給バランスの不均衡から下落傾向を辿っており、2015 年初頭から 20%以上、2014 年初頭からは 57%以上下落している。この打撃を直に受けたのが石油化学製品で、製品価格の下落を招き、バージン品と再生品の価格差は縮小した。

これまで中国の再生ポリエステル繊維産業の主な推進力は、高い技術力を必要とせず新規参入が容易であること、国内市場で急速に拡大する需要、比較的low価格であるため低価格層のバージン品の代替を狙ったことであった。ところが、生産能力の拡大、低迷する経済成長、製造コストの上昇、さらに再生品とバージン品の価格差が縮小したことで品質の良いバージン品への切り替えが進んだことで、原動力は弱まっていった。

再生リサイクル繊維は、価格面での有利性を失い、特徴的な製品を打ち出すことに失敗し、唯一無二の存在とは成り得なかった。

☆ スペイン

合繊原料

IVL、Cepsa の PIA/PTA/PET 事業を買収へ

タイのポリエステルメーカー大手 Indorama Ventures Limited (IVL) は、スペインの総合石油会社 Cepsa (Compañía Española de Petróleos, S.A.U.) の San Roque 工場を買収する。

San Roque 工場は、PIA、PTA、PET を生産しており、生産能力はそれぞれ年産 22 万ト、32.5 万ト、17.5 万ト。原料を隣接する製油所から調達している。PIA、PTA、PET を生産する世界でも数少ない一貫生産工場である。

Cepsa は欧州で唯一高純度イソフタル酸 (PIA) を製造しており、先進的な特許技術とともにその規模は世界でも第 2 位である。PTA についても専有技術を有し、IVL は今年 6 月、Cepsa がカナダに有する PTA 工場 (年産 60 万ト) を買収している (海外速報 2015 年 6 月 10 日号)。Cepsa の PET 生産に関しては、IVL が蘭ロッテルダムで年産 22 万トで操業する PET 工場と技術が同類であるため、低コストでのデボトルが期待できる。IVL は今回の買収により、欧州市場におけるポートフォリオを補完し、PIA 事業においてリーダーとしての地位を狙う。